

紀尾井小ホールで出会う

紀尾井 午後の音楽会

祭

【監修】
徳丸吉彦

邦楽と洋楽の魅力的な出演者が繰り広げる祝祭(2020年度延期公演)

水谷上総
ファゴット



堅田新十郎
邦楽囃子方



長唄 元禄風花見踊

唄 杵屋佐喜、杵屋正則、杵屋勝英治
三味線 稀音家六四郎、松永忠三郎、杵屋正叡
囃子 堅田新十郎、堅田喜三郎、堅田昌宏、望月太左幹／鳳声晴久

ストラヴィンスキー 春の祭典～第一部〈大地礼賛〉

ファゴット 水谷上総
ピアノ 宇根美沙恵

囃子組曲より

囃子 堅田新十郎、堅田喜三郎、堅田昌宏、望月太左幹／鳳声晴久
ファゴット 水谷上総

2022年
1月13日(木)
午後1時30分開演 (12時45分開場)



池村隆可
杵屋佐喜
(長唄)



稀音家六四郎
(三味線)



宇根美沙恵
(ピアノ)

チケット(税込・全席指定) 3,000円

※お一人様2枚までのお申し込みとさせていただきます。
※優先販売で予定枚数に達した場合、一般販売はございません。

発売日 友の会優先発売 11月2日(火) 一般発売 11月4日(木) いずれも0時～

チケットお取扱い

● 紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/tickets>

操作方法がわからない場合は、ヘルプデスク (0570-550-372 / ナビダイヤル・有料) へお問い合わせください。

● チケットぴあ 11月4日(木) 10時～ Pコード 204691

セブンイレブン店頭でも購入できます。店舗に設置のマルチコピー機からチケットをお申し込みください。レジでのお支払い後、チケットをお受け取りいただけます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためお願い

チケットご購入条件として右記QRコードより内容をご確認ください。



※料金は税込です。本紙掲載の料金のほか、発券時に所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。 ※やむを得ない事情により公演中止となる場合は、チケット購入者に券面表示金額にて払い戻しいたします。 ※出演者・曲目・演奏順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。 ※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。 ※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。 ※車いす席をご希望の方はメール (webticket@kioi-hall.or.jp)にてお申込みください。スペースに限りがありますので、ご来場の際は事前に必ずご相談ください。

※不測の事態で公演中止となる可能性があります。最新情報はウェブサイトにて御確認ください。



堅田新十郎 邦楽囃子方

1967年東京都生まれ。1990年明治大学卒業、父・三代目堅田喜三久(人間国宝)のもと、堅田宏として演奏活動を開始。1998年四代目堅田新十郎を襲名。現在、囃子方として歌舞伎舞台、NHK「いろはに邦楽」等のTV・ラジオ出演、CD発表のほか、海外でも演奏活動を行う。長唄協会会員、桐朋学園芸術短期大学講師、横浜朝日カルチャーセンター講師。



©池村隆司

杵屋佐喜 長唄唄方

1983年東京生まれ。七代目杵屋佐吉の次男。三味線を五世杵屋佐吉、田島佳子に、長唄を人間国宝・杵屋佐登代、今藤尚之の各師に師事。玉川大学芸術学科、声楽専攻卒業。声楽を藤原歌劇団テノールの市川和彦に、ピアノ・作曲をピアニストの仲野真世に師事。第11回アジアクラシック音楽コンサート新人賞受賞。2002年父の前名である佐喜を襲名。現在、唄方として国内外の演奏会、歌舞伎公演、日本舞踊会、テレビ、ラジオ等に出演多数。



稀音家六四郎 長唄三味線方

1986年東京都生まれ。幼少期から三味線を始め、16歳で稀音家祐介に師事、17歳で長唄研精会発会100周年記念演奏会にて三味線方、稀音家一郎としてデビュー。歌舞伎、演奏会、TVなどに出演。2018年父の後を継ぎ六代目稀音家六四郎となる。長唄協会会員、研精会代表。



水谷上総 ファゴット

京都市立芸術大学卒業。ドイツ政府給費留学生としてゲトモルト音楽大学にてヘルマン・ユンク氏に師事。ライン・ドイツ歌劇場管弦楽団(1989年～)、群馬交響楽団(1993年～)を経て、2000年よりNHK交響楽団首席奏者。東京音楽大学兼任教授。CDは池辺晋一郎のファゴット協奏曲「炎の資格」(カメラータ)、「ゾナーテン」「ドイツ作曲家によるファゴット作品集」「ファゴットィーノ」(オクタヴィア・レコード)をリリース。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。



宇根美沙恵 ピアノ

東京藝術大学ピアノ科卒業、その後楽理科卒業。PTNA、JPTAピアノオーディション等で入賞。国際ダブルリードフェスティバル、日本木管コンクール、浜松国際管楽器アカデミー等にて公式伴奏ピアニストを務める。現在、東京藝術大学非常勤講師(演奏研究員)。

主要な曲目から

元禄風花見踊

「元禄風」と「風」が入ることからわかるように、元禄時代の上野の山の花見を題材に賑わいを描写しています。作曲した三世杵屋正治郎は、明治に入ったときまだ40代で、横浜で洋楽も聴いていました。一部に三拍子を含み、中でも「連れてて着連れてて～」の部分は昔の映画で良く使われるなど有名な旋律です。

ストラヴィンスキー 春の祭典～第一部<大地礼賛>

ロシアの作曲家ストラヴィンスキーがロシア・バレエのために作曲し、ニジンスキーが振付をした初演はその革新性もあり大騒動となりました。序奏のファゴットの旋律が非常に独創的ですが、全体は変拍子の連続で大変難易度の高い演奏でも知られています。本日はその第一部を、4手ピアノ用とチェロとピアノ用の編曲を元にファゴットとピアノのヴァージョンでお届けします。

囃子組曲より

堅田新十郎による囃子の特徴がよく分かる部分を組曲として作りました。小鼓は、高・低、大・小の響きを組み合わせ音色を変化させ、大鼓・太鼓が音量とリズムを刻みます。笛は能楽と篠笛で異なった動きを見せ、リズムと旋律を担当しています。ファゴットの旋律が組み合わさり、囃される相互の会話をお楽しみ下さい。

トップソムリエ認定



岩田 渉 認定 谷 宣英 認定 阿部 誠 認定 佐藤 陽一 認定 森本 美雪 認定

森永製菓株式会社



ワインに合う チョコレート。



カレド・ショコラ